

一般社団法人

日本物流システム機器協会

ご案内

ごあいさつ

マテリアルハンドリング (Material Handling, MH) とは、生産・流通・サービスにおける様々な物品の保管・搬送・仕分けなどモノの移動に関わる取り扱いを指す言葉で、MHの効率化は、企業のロジスティクスや生産性向上に大きく寄与します。

日本物流システム機器協会 (JIMH) は、MHに携わる物流システム機器メーカーを中心に2008年に発足し、社会に向けた物流システム機器の理解促進と、物流システム機器業界における課題解決を目的に、さまざまな活動に取り組んでいます。

近年、物流システム機器は自動化・省力化をキーワードとして、人口減少・少子高齢化に伴う労働力不足への対応、事業継続計画 (BCP) の推進、物流価値の向上などを具現化し社会インフラと位置付けられるようになりました。さらに各種ロボットとの協調・協働や人口知能 (AI) の活用、モノのインターネット (IoT) への対応など、技術導入を加速し、新たな物流価値を創出していくことが期待されています。

今後、ますます深刻化する労働人口の減少、ECの普及による消費形態の多様化、グローバル化によるサプライチェーンの高度化、持続可能な開発目標 (SDGs) の実現など、環境への配慮や産業構造の変化が社会や経済に大きな影響を与えるものと考えられます。

これらの課題解決に向け、物流システム機器業界にはこれまで以上の期待が寄せられていると考え、その期待に応えるためJIMHはこれからも社会・産業界への貢献と物流システム機器業界の発展を目指し、たゆまぬ努力を続けてまいります。

今後ともより一層のご支援、積極的なご参画を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



一般社団法人
日本物流システム機器協会
会長 下代 博

活動方針

JIMHでは、行政、各種関連団体やMHの現場に精通している物流システム機器・部品メーカーと連携しながら、社会や産業界のMHに対する様々なニーズの実現や課題解決に向けて、3つの活動方針を掲げ積極的に取り組んでまいります。



生産・物流現場の 省力化・自動化

物流現場では、少子高齢化による人手不足や、市場ニーズ多様化への対応に伴う現場オペレーションの高度化・効率化など、さまざまな課題が持ち上がっております。JIMHでは、人と機械の融合を考慮し、「IoT」、「インダストリー4.0」、「ロボット革命」等の最新技術の情報収集・活用により、生産・物流現場の作業負荷低減や、労働人口の変化、市場ニーズの多様化に柔軟に対応できる物流システム機器の供給に努めてまいります。



環境負荷軽減 を重視したMHシステム

MH業界においても、他の産業界と同様に環境負荷軽減や循環型社会の実現に向けた省エネ設備の普及促進が大きなテーマとなっています。JIMHは、これまで蓄積したMH技術を活用し、環境を重視したシステムやソリューションを提案していきます。



グローバル化 に向けた業界連携と標準化

サプライチェーンのグローバル化や、新興国におけるMHシステムへのニーズの増加など、世界規模でのMH市場拡大が見られる中、企業の枠を超えた業界連携が必要となります。JIMHでは、日本・米国・欧州・中国による「4極会議 (WMHA)」を中心として、アセアン諸国に向けたMH市場の創造と拡大のための活動や、さらなる技術革新と標準化推進に注力してまいります。

主な活動

会員交流

講演会・勉強会・新年賀詞交歓会を開催

JIMHでは、各種講演会・勉強会・工場見学会や行政事業説明会などのセミナー、会員相互の親睦をはかる新年賀詞交歓会などを開催しております。



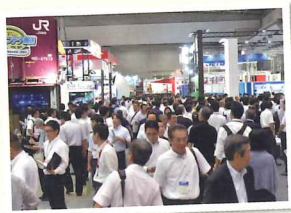
機種別委員会 設備系・情報系委員会を開催

機種毎に抱える問題点や課題を抽出し、技術向上・標準化の指針を整備していきます。



展示会事業 国際物流総合展の主催団体

アジア最大級、国内唯一の物流・ロジスティクス専門展示会「国際物流総合展」の主催団体として活動しています。



国際交流

日本、米国、欧州、中国による4極会議(WMHA)を開催

JIMHの提案により、世界中の代表的な物流システム機器団体が一堂に会する「4極会議」を発足、マーケット、技術、規則／規格などの情報交換や交流を定期的に行っています。



日中物流技術交流会を開催

2009年より中国機械工程学会との定期的な交流を実施、両国の物流システム機器事業の発展と新たな市場開拓を行っております。

教育・研修事業 「マテハン塾」の企画・開催

マテハンの機能をフル活用した物流センターの企画・構築・提案ができる人材を育成するため、「マテハン塾」を開催しております。



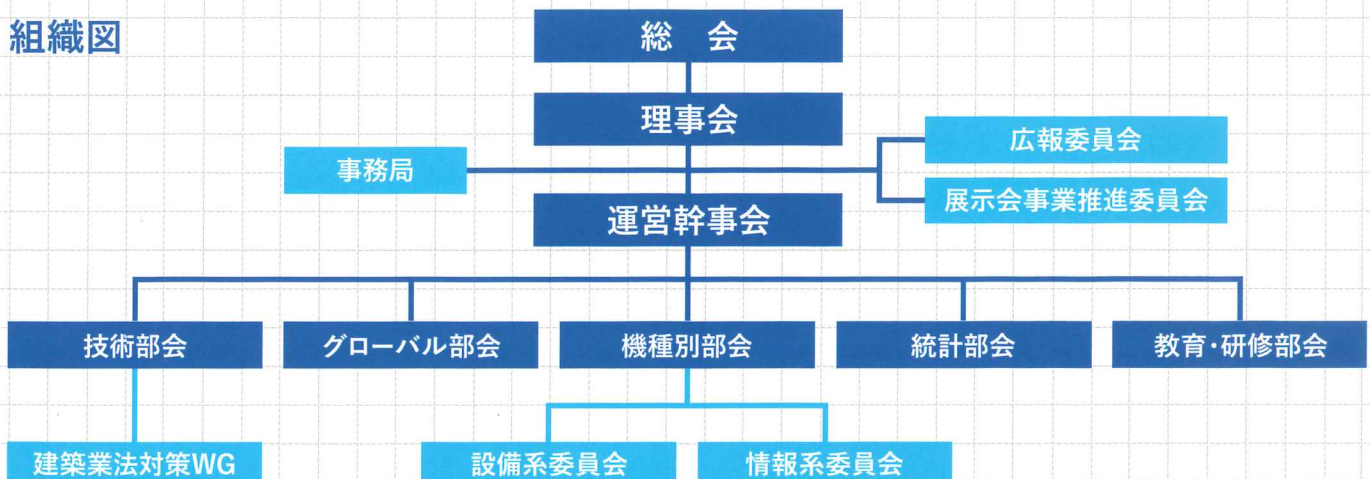
発表会

統計調査事業 機器出荷統計の調査

物流関連機器の出荷統計「物流システム機器生産出荷統計」や「マテハンシステム機器生産・出荷統計」などの統計調査活動を実施しています。



組織図





都営地下鉄浅草線 「宝町駅」A2出口 徒歩3分
 東京メトロ日比谷線 「八丁堀駅」A3出口 徒歩7分
 JR京葉線 「八丁堀駅」A3出口 徒歩7分



〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-3-2 スギコビル2階

TEL:03-6222-2001 FAX:03-6222-2005

<https://www.jimh.or.jp/>

会員サービス

資料サービス

協会広報誌の配布・報告書、統計資料等の配布

研究会への参加

物流システム機器業界が抱えるさまざまな課題をテーマとする部会・機種別委員会を発足させ、
 会員相互の情報交流を密にして問題解決の糸口を探ります。

本会主催の展示会の入場券無料配布

※入会の申し込みは随時受け付けております。会費等は協会宛にお問い合わせください。